

# 宮城県日中友好協会

TEL・FAX 022-274-3811

E-メール [jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp](mailto:jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp)

ホームページ <https://miyagi-jcfa.com/>



12月、(師走 しわす)。月日の流れは速く、あっという間に師走。今年は魯迅先生仙台留学120周年・逝世88周年の大きな行事を終え、さて、来年はどうなることやら、楽しみでもあり、心配でもある。

## 1. 12月の行事予定

日時	行 事 名	場 所
12月7日 (土)	宮城県日中友好協会理事会 13:00～	仙台国際センター多文化共生センター
12月14日 (土)	仙台市日中友好協会理事会 10:30～	宮城県管工事会館
12月15日 (日)	第3回日本語発表会 14:00～16:00 オンライン推進交流委員会主催	Zoomによるオンライン形式

## 2. 仙台市日中友好協会・あわら市日本中国友好協会連携協定調印式について

10月28日(月) 11:30～ 仙台国際センター展示棟3A会議室に於いて調印式が執り行われました。

これは、2023年9月18日(月・祝)仙台市で開催された仙台魯迅セミナーにおいて「魯迅を指導した藤野源九郎の人物像」と題して講演した、魯迅・藤野巖九郎研究家で福井県日中友好協会理事長の山本正雄氏より、講演会後の交流会の場で、魯迅先生が留学された仙台の仙台市日中友好協会と、魯迅が留学した仙台医学専門学校の指導教官藤野巖九郎先生の故郷あわら市のあわら市日本中国友好協会の交流を提案されたことを発端として、両協会の連携協定調印の協議が進み、今回の調印式となったものです。

当日は、仙台市側から佐々木謙会長をはじめとする役員8名、あわら市側から大代紀夫会長をはじめとする役員5名が参加して調印式を執り行いましたが、来賓として横山弘達仙台市文化観光局交流企画課交流推進担当課長様からご祝辞を頂きました。その他、一般の方もこの調印式の立会人として参加されました。

調印式後は、牛タン弁当を食しながら交流を深め、13:30～開催される魯迅先生仙台留学120周年・逝世88周年碑前献花式に臨みました。



※ 調印後の記念撮影



※ 出席者一同記念撮影



※ 交流

3. 10月28, 29日の両日にわたり、「魯迅仙台留学120周年」の諸行事が仙台市内で盛大に行われました。

28日午後から仙台市博物館横の「魯迅の碑」で魯迅の孫である周令飛ご夫妻、周令一、周寧さん等約150人が参加し、記念撮影、献花式を行いました。「市民の会」を代表し、当会・佐々木謙会長、仙台魯迅先生顕彰会・郡和子仙台市長、中国大使館・杜柯偉・教育公使参事官(呉江浩大使の代理)等があいさつし、周令飛・魯迅文化基金会会長からは”魯迅と藤野先生の民俗を超えた友情を更に発展させていきたい”と挨拶がありました。更に魯迅の故郷の曲を学友会の王昌竜氏が中国竹笛で演奏もありました。

また国際センターに会場を移しての「120周年の集い」では周寧さんのあいさつ、「藤野先生と魯迅」(あわら市日中友好協会・大代紀夫会長)等の講演が行われました。この後、新潟総領事館(崔為磊総領事)主催による「新潟・福島、山形・宮城4県の友好団体交流会」がもたれ、各県の活動の一端が紹介されました。



29日夕刻からは東北大学主催での「記念ワークショップ」及びホテルに移動してのレセプションが行われ、富永悌二総長のあいさつや周令飛会長との記念品交換も行われ、終始にぎやかな歓談の場となりました。



※写真左：参加者一同記念撮影、写真中鲁迅の令孫周令飛・張純華ご夫妻と佐々木会長記念撮影 ※写真右：仙台鲁迅顕彰会郡和子仙台市長と鲁迅の令孫周令一、周寧両氏との記念撮影

#### 4. 手巻き寿司交流会（青年委員会吉澤千明）



青年委員会では11月10日、仙台国際センターで手巻き寿司交流会を開催いたしました。当日は35名の参加がありました。（留学生9名日本人大学生9名一般17名）

新沼委員長の挨拶の後、参加者は6つのテーブルに分かれて手巻き寿司を作って食べながら歓談しました。女性委員会の方々のご協力で具沢山の豚汁を作ってください、とてもおいしくいただきました。おなかを満たされた後、男女別腕相撲大会を開催しました。勝っても負けてもみんな笑顔で楽しそうでした。その後、東北大学邦楽部の学生さんによる「東京音頭」の演奏がありました。生演奏は迫力がありとても素晴らしかったです。その後、みんなでジャンケンをして負けた人が勝った人の後ろにつながる「ジャンケン列車」をしました。最後には1つの列になり優勝者には賞品が授与されました。その後、参加者全員で記念写真を撮り交流会を終了しました。

参加した留学生からは「年齢の違う皆さんがこのように集まって交流する機会がありませんので今日の交流はとてもいい機会だったと思います。」という感想が聞かれました。初めて交流会に参加した大学生は「たくさん中国のお友達ができて楽しかったです。また交流会に参加したいです。」と話していました。青年委員会の催しに初参加の方からは「留学生との会話は楽しく、大変癒されました。文化や風習の違いはありますが交流を通してお互いを理解するきっかけとなり楽しいひとときを過ごさせていただきました。」という感想をいただきました。他にも「納豆が苦手な留学生が、おいしいと沢山食べてくれちょっと感動。久しぶりに大勢の人と食事ができ、非常に楽しかったです。」という感想もいただきました。

今回の交流会は青年委員の会員である東北大学の学生メンバーが中心となって企画から当日の司会、ゲームの進行を行いました。彼らの活躍に今後も期待しています。交流会は多くの方々のご協力のもと無事に終了することができました。水戸憲子女性委員会委員長はじめおいしい豚汁を作って下さった皆様、この場をお借りして心より感謝申し上げます。ありがとうございました。